

予定位通りに進まない? 「国際会議の企画と失敗しない予算計画」

“第38回宇宙線国際会議2023の経験から”

2025/12/15

KEK-IINASフォーラム2025

国際会議の開催のコツ！～企画から実務まで～

「企画編」

東大宇宙線研究所

伊藤好孝

自己紹介

- 宇宙線実験の研究者
 - 東大宇宙線研究所教授、昨年まで名大宇宙地球環境研究所に在籍
 - 専門はニュートリノ、暗黒物質探索、など
- 宇宙線分野最大の国際会議ICRC2023の誘致から開催まで経験
 - IUPAP C4委員（宇宙線関係の国際組織）を2017-21やっていました。
 - 2003年のICRC（つくば開催）の時の組織委員も経験

宇宙線国際会議(ICRC)とは

- 宇宙線分野最大最古の国際会議。毎回1000名程度参加、夏に~10日間開催
 - 2年に1度、1947開始、今年で38回（76年）の最も古い歴史を持つ
- 原則3地域（欧州、北米・南米、アジア・オセアニア）をローテーション
 - 日本開催は京都(1961, 1979)、つくば(2003)、に続き20年振り4回目
 - 2017釜山、2019米国Wisconsin、2021ベルリン→完全オンライン
- IUPAP(国際物理応用連合) Commission-4(Astroparticle physics)がIABとして（かなり）関与
 - 伊藤がC4委員だった(2017-2021)。2019, 2021開催にはIABとして関与
- 第38回ICRC2023を2023年7月26日—8月3日まで名古屋大学で開催
 - 4年以前のICRC2019の場で日本へ誘致成功、準備開始
 - （しかし誘致当初は大阪開催予定だった…）

誘致までの経緯

- 開催4年前(2019年) のICRC(7月末) でのC4委員会上で4年後(2023年夏) の開催地bidding (立候補と選考)
- 2019年6月、宇宙線コミュニティ(通称CRC) で立候補議論開始
 - 前回国内開催から20年、次のアジア開催は2029年、見送ると経験者不在に
- 各都市会議会場を比較、大阪で立候補を決定
 - 1箇所に1000人収容メインホール、5個以上の200人級パラレル会場
 - 開催地近くに十分なLOCメンバーを確保できるか
 - 補助金含めた会場経費、開催地の魅力
 - この間、研究者だけで企画。最後の最後に会議場に相談、情報を入手
- 8月2日 ICRC会期中の投票で大阪が選ばれた
 - 他の2候補と激戦。投票の結果で勝利
 - 会期は2023年7月26日～8月3日と確定

誘致の時点で・・

- 誘致合戦
 - 複数の候補地がプレゼンを行い、選考される(bidding)
 - 科学的な理由づけに加えて、実行可能性？魅力ある開催地・会議場か？
- まずは、開催都市、会場候補が先決
 - 会場候補：大きなホール、パラレル会場数、日程状況、金額？
 - 開催都市：アクセス、宿泊・食事場所、現地に組織委員候補いるか？
- 誘致時点で予算案が必要
 - 参加料は妥当か？予算案は実行可能性？若手へのサポート？
 - 誘致時に会場案、会場経費は決まっている必要がある
 - 過去の開催記録を参考(ICRC2003つくば)
- プrezent資料は業者が作ってくれるかもしれない
 - 旅行代理店、コンベンションビューロー、会場会社などのヘルプ
 - (ICRC2023の時は、会場資料だけもらって自分で作った)

誘致時の予算超概案（開催時予算とは異なる）

収入			支出		
参加料	Early (50000円×500人)	2500万	開催準備	ホームページ	80万
	Regular(60000円×100人)	600万		参加登録	180万
	Student(30000円×200人)	600万	開催経費	会場賃貸費	2800万
バンケット	(6000円×600人)	360万		参加配布物	220万
補助金	IUPAP	140万		コーヒーブレイク	360万
	自治体	750万		バンケット・レセプション	1020万
	科研費	700万		参加費・旅費補助	500万
	寄付金	350万		組織委員会活動費	90万
				予備費	400万
			開催後	会議録	100万
				報告書	60万
合計		6000万	合計		6000万

自分で弾いた超概算、800人参加想定だった。。双方向配信は考えてなかった。。

誘致直後の作業

- 組織委員の決定、役割分担体制、タイムライン策定
- 組織委員会規約作成
- 決済口座開設
- (精度向上した) 予算案作成
- 趣意書作成
- ホームページ作成
 - 業者に頼まずGitHub編集のWeb clientで自力編。
 - domainだけ獲得
 - ロゴ、バナーデザイン（外注）
- 内部情報蓄積場所(wiki)
 - 資料共有サーバー、Slack立ち上げ
- 旅行代理店決定、契約
 - 会議企画・運営のもろもろをプロに相談、委託
 - 参加登録、参加料徴収、一時建て替えなど出納事務をお任せ
 - 3社に見積もり、参加登録システムのテストを経て最終決定



会議までのタイムライン

- 2019/8/2 開催決定
- 2020秋 開催準備委員会発足
- 2021/9 LOC発足
- 2021/5 旅行代理店決定
- 2021/5 Web 開設
- 2021/10 一部Onlineと決定
- 2022/2 名大へ開催地変更(！)
- 2022/5 銀行口座開設
- 2022/8 寄付金依頼開始
- 2022/8 バンケット会場決定
- 2022/8/12 First circular
- 2022/9 ISPC候補選定
- 2022/12/26 参加登録開始
- 2023/2/8 ISPCメンバー選定
- 2023/2/20 アブスト締め切り
- 2023/3/28 豊講でハイブリッド
リハ研究会
- 2023/4/22 早期参加登録締切
- 2023/6/16 講演番号通知
- 2023/7/8 会議システム公開
- 2023/7/10 ランチ弁当締切
- 2023/7/10 参加登録締切
- 2023/7/26-8/3 開催！

会議web:参加登録(Amarys)と会議システム(Confit)

- 参加登録、演題登録、査読、ランチ予約、課金は旅行代理店のウェブシステムを使用
 - 演題査読はうまく動作せず、エクセルに落として実施。
- 会議の資料共有・アーカイブは別会社会議システムを使用
 - プログラムタイムテーブルの共有
 - スライドアップロード、閲覧
 - オンラインポスター (pdf)アップロード、コメント共有
 - zoom配信録画は連携する動画サーバーからシェア
- プロシーディングスはPoS を利用。オンライン出版のみ



実際のICRC2023参加料・登録数

		一般	学生
対面参加(Early)	Early	45000円	25000円
	Regular	55000円	40000円
オンライン参加	通常	35000円	15000円
	修士・学部学生 (発表無の場合)		0円
バンケット		10000円	

		一般	学生
対面参加(Early)	Early	586人	344人
	Regular	128人	39人
オンライン参加	通常	170人	127人
	修士・学部学生 (発表無の場合)		91人

会期終了後

- プロシードィングスの査読
- 会計：収支決算、会計監査（監査事務所対応）
- 報告書の作成

企画編まとめ

- (大型) 国際会議の企画
 - 単発研究会と違い長期の準備
 - 2開催前の立候補(bidding)時に企画、予算案が必要
- 会場、開催地の選定が第一歩
 - 参加人数、全体予算から会場が決まる。過去開催の記録を参考に
 - 開催地周囲に組織委員がいるか？
- 旅行代理店・コンベンション会社の決定と共同作業
 - 会議企画・遂行のプロとして定例会議で相談
 - 参加登録システム、参加費カード決済・一時支払い等は代理店が必要
 - ビザ取得、ランチボックス、バンケット、配車等のロジスティク担う